

たけはら町並み保存地区

浪漫てくてく 「たけはら」

一歩足を踏み入ると
そこは白壁と怡色の格子が続く
いにしへの町並み。
目をつむりそと耳をすますと
製塩と酒造の賑わいの時代へとタイムスリップ。

竹原くつろぎのお宿

- かんばの宿 竹原 Tel 0846-29-0141
- ホテル賀茂川荘 ☎ 0120-55-8080
- ホテル大広苑 Tel 0846-22-2970
- 竹原シティホテル Tel 0846-22-8811
- 竹原シーサイドホテル Tel 0846-26-2236
- 休暇村大久野島 Tel 0846-26-0321
- グリーンスカイホテル竹原 Tel 0846-22-1355



祭

たけはら竹まわり 5月上旬
たけはら七夕まつり 7月上旬
たけはら夏まつり花火大会 8月下旬
たけはら権の路 10月下旬



観光のお問い合わせ

竹原市産業振興課
〒725-8666 広島県竹原市中央五丁目1番35号
Tel 0846-22-7745 FAX 0846-22-1113
E-mail kankou@city.takehara.lg.jp
ホームページ http://www.city.takehara.lg.jp/

(一社)竹原市観光協会
〒725-0026 広島県竹原市中央一丁目1番10号
Tel 0846-22-4331 FAX 0846-22-5065
E-mail kankou@urban.ne.jp
ホームページ http://www.takeharakankou.jp



竹原格子

怡色の木目にゆかしい
歴史の息づかいを感じる

たけはらの町家の特徴は、一軒一軒に工夫が凝らされた
さまざまな、格子が見られることです。
格子は出格子と平格子、塗格子に分けられます。
一階部分に多い出格子は、古いものは格子が太く着脱が
自由になっています(吉井邸・大瀬邸)。
虫籠窓や武者窓と呼ばれる二階の窓は塗格子が多く、
簡略な出格子をはめ込んだものもあります。
江戸時代の末になると、縦格子の中に横格子を加えるなど
意匠を凝らしたものが作られるようになりました。



紙本着色竹原絵屏風(市重要文化財)

竹原絵屏風は江戸時代中期以降のもので、頼山陽の叔父、頼春風(医者、儒者)の
家である「春風館」に所蔵されています。山手から本川を中心にして両側に立派な
家々が軒を連ね行商人、旅人、武士、子供たちなど、いきいきと活気に満ちた様子が
描かれています。南は沖口まで一面の塩田が広がり、当時の繁栄ぶりが偲べれます。

町並み 観光ガイド

所要1時間30分~2時間ほどの散策
で、地元観光ガイドが美しい町並みを
詳しくご案内させていただきます。
2日前までの予約が必要です。



■たけはら観光ガイド会(道の駅たけはら内)

TEL/0846-22-7730
FAX/0846-22-1201
ガイド料/2,000円

頼山陽銅像



頼山陽(1781~1832)
江戸後期に活躍した儒学者。
安永9年12月27日、大阪江戸堀で生ま
れ、広島で育ち竹原の文化を吸収し、
最期は京都で亡くなりました。
「日本外史」「日本正記」「通義」など
の書を著し、幕末の志士に多くの影響
を与えました。
また、漢詩文「川中島」「天草洋泊」な
ど書画にも通じ、日本全国の学者との
交流も図っていました。
その頼山陽生誕二百年を記念して、日本
で初の銅像が竹原に建立されました。

定期観光バスのご案内

竹原駅 [11:00発]

- 町並み保存地区(昼食) - 今井政之展示館(豊山窯)
- パンプジョイハイランド(竹の館)
- たけはら美術館 - 竹原駅 [15:40着]

- 運行日/3月~11月・毎週日曜日
- 料 金/大人2,900円 中高生1,900円 小学生1,100円 幼児800円(入場料含む)
- 問合せ先/芸陽バス(株) 竹原営業所 Tel 0846-22-2234



松阪邸 <市重要文化財>
唐破風の流れるような屋根と、菱格子の
塗り込め窓が華麗な商家の邸宅。
(月曜休館・入館料200円)



亀田邸
犬矢来の繊細な千本格子が美しい亀田邸。
家紋入りの軒丸瓦が時代を思わせます。
(外観のみ公開)



春風館・復古館 <国重要文化財>
竹原で医者を開業した、頼山陽の叔父・頼春風の邸宅。武家屋敷風の
雰囲気あふれる数寄屋風建築が実に見事です。(通常は外観のみ公開)



普明閣(西方寺) <市重要文化財>
京都・清水寺の舞台を模して建てられたとい
われる西方寺の観音堂。この境内や舞台か
らは、竹原の古い町並みが一望できます。

森川邸 <市重要文化財>

竹原塩田の1番浜跡地に建てられた豪邸。
土間に、竹原の繁栄の礎となった
塩田の作業風景を展示しています。
(木曜休館・入館料300円)



歴史民俗資料館
江戸時代の「竹原書院」跡に建てられた洋
館に、塩田関係の資料を展示しています。
(火曜休館・入館料100円)



町並み保存センター
映像で竹原の歴史や町
並みを紹介しています。
(水曜休館)



吉井邸

母屋は竹原最古の1691(元禄4)年建築。
広島藩の本陣としても使われました。
(外観のみ公開)



光本邸

竹原出身の陶芸家。今井政之・眞正・
裕之親子三人の作品40点を展示して
います。
(金曜休館・入場料200円)



